

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 H17.3.22~			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	02 自然と共生するまちづくり
	小項目	施策	01 環境保全
事務事業名			01 大気汚染防止事業
			根拠法令・規程等 大気汚染防止法
			担当課(室) 環境課
			職・氏名 保全係長・牛原裕二
			電話 64-1822

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	大気汚染の影響を受ける恐れのある市民
目的(何のために)	大気中の環境状況の現状及び経年推移を把握するため、環境指標物質や人体に有害な物質などを調査測定し、公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。
行政活動(どのような方法で)	市内4カ所での常時監視測定、飛散物質の調査及び燃料中に含まれる物質の分析調査。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	大気の現状を常に把握することにより、今後の環境保全及び改善への意識改革を図る。

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
大気汚染調査	回	4,793	4,806	4,793	
有効測定回数	回	4,757	4,782	4,720	
測定機器管理	回	204	204	204	
最新規制適合車等代替の助成金交付	台	9	10	5	
活動					
事業費					
直接事業費	千円	15,688	12,439	9,077	
必要人員人件費	千円	0.83人	0.41人	0.51人	3,526
事業費計		21,444	15,084	12,603	
財源					
国・県支出金		3304	4590		
受益者負担金					
市債	千円	3300			
その他(諸収入)				2101	
一般財源		14,840	10,494	10,502	
受益者負担比率	%				

結果指標					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
調査項目別に市内測定局、測定機器で調査した回数	説明				
結果指標量	回	4,793	4,806	4,793	
対前年比	%	-	100.3%	99.7%	
活動コスト	円	7,730,550	6,982,430	6,974,171	
単位当たりコスト	円	1,613	1,453	1,455	
市内4測定局に設置された測定器の保守管理回数	説明				
結果指標量	回	204	204	204	
対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
活動コスト	円	6,481,370	6,206,184	5,857,333	
単位当たりコスト	円	31,771	30,422	28,712	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
調査計画達成率	目標値(A)	1	1	1	1
	実績値(B)	0.992	0.995	0.985	到達目標年度
	達成率(B/A)	99.2%	99.5%	98.5%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
有効測定回数/大気汚染調査回数					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> <b>A</b> 判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	4,063	結果指標量②	168	成果指標量	1
状況	拡充		現状継続		見直し	○
説明	調査内容については、前年度同様の調査項目・調査地点において行っているが、監視データの欠測を無くすため、定期的な保守管理を実施している。経費削減のため測定項目の見直しを行っている。					

総合評価	
大気汚染常時監視については、更に欠測データを減らすために測定機器に十分な保守管理を行う必要がある。また、周辺環境等の状況変化に応じ調査内容を改善しながらの事業継続が必要である。	評価区分<A~E> <b>B</b> 

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充		現状継続		見直し	○
説明	経費削減のため測定項目の見直しを行っていく。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
効率性	測定地点・項目の見直し、削減		H22~	経費削減		